

【小国町】の部活動改革の取組み

自治体の課題、現状

- ・少子高齢化と人口減少が課題となるなか、令和4年度から実証事業に取り組み、令和6年度は6つの競技で事業を行った。
- ・事業当初から総合型地域スポーツクラブを運営主体とし、各競技団体等から指導者を派遣いただき、量と質を確保しながら行っている。
- ・これまでの取り組みから、地域クラブ活動の持続発展のためには、『人材』（活動を支える指導者確保）、『経費負担』（受益者負担の原則のなかでの行政負担の在り方）、『移動手段』（家族送迎が難しい生徒も参加できる環境確保）の3つが大きな課題として見えてきた。
- ・特に『移動手段』は、当町は地理的に車移動に頼らざるを得ない環境にあり、町内移動はもとより、近隣市町との広域連携を進めるうえでも、スクールバスの活用について議論・整理する必要がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	158人
域内の部活動数	9部	実施した地域クラブ数	6クラブ
全体の指導者数	37人	全体の運営スタッフ数	40人
運営団体	NPO法人おぐにスポーツクラブYui（総合型地域スポーツクラブ）		
種目	野球、陸上、柔道、剣道、卓球、バレー…		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：2人/クラブ 2年：4人/クラブ 1年：4人/クラブ
参加会費	500円/月		主な活動場所 小国中学校

地域移行関連の取組み、成果

【人材について】

各競技団体、各スポーツ少年団に所属する有資格者を推薦・派遣いただくことにより、指導者の質と量を確保して実施することができたことは成果として評価できる。

【経費負担について】

クラブ活動運営費の一部を町単独費で上乗せし、各家庭の負担を出来る限り減らしたことにより、部員全てが地域クラブ活動に参加したことは成果として評価できる。

【移動手段について】

スクールバスを運行したことにより、保護者の送迎負担を軽減できたことは成果として評価できる。

運営体制図

